

● 活動目的

1. WHO/UNICEF「母乳育児がうまくいくための 10 のステップ(2018 年改定)」に基づき、継続的且つ包括的に母乳育児を支援することを目的として、母乳育児推進室を設置し組織的に運営を行う。
2. 支援の対象は、当院で出生した健康な正期産新生児だけでなく、NICU や小児科病棟などに入院する病児とその母親、疾患を持つ母親など、すべての児と母親、その家族とする。
3. 母乳育児中の母子だけでなく、疾患などのために母乳育児ができない母子に対しても適切な支援を提供する。

● 活動状況

1. 推進室会議:2 か月に 1 回開催

2. 院内活動

1) 研修

- a) 新採用者向け研修:赤ちゃんにやさしい病院(BFH)オリエンテーション(多田克彦室長)
- b) 初期研修医・学生向け研修:
 - ① 4 月「妊娠・授乳と薬剤」川口優里香(産婦人科)・大山麻美(新生児科)
 - ② 6 月「BFH とは」(助産学生)
3 月「BFH とは」(看護学生) 柚木直子(6A) 中村和恵(新生児科)

2) 院内での連携・啓発活動

- a) 各病棟からの授乳婦の母乳育児相談(随時)
- b) 妊娠・授乳と薬剤に関する相談(妊娠と薬外来、薬剤部と連携)
- c) 新型コロナウイルス陽性妊婦の出産後の支援:
 - ① 西 2、西 4、5B、6A の各病棟と連携し、搾乳の支援、退院前の授乳支援、退院後の子育て支援を継続的に行った。
 - ② コロナ陽性の母親の搾乳の使用に関する手順を作成し、1 名に実施した。

3. 院外への情報発信

1) 保健医療従事者対象

- a) 岡山県看護協会・新人助産師研修:
講師:有道順子(外来)、小谷教恵(6A) 8 月
多田克彦(産婦人科)、中村和恵(新生児科) 5 月 18 日
- b) BFH 連絡会議参加(オンライン):11 月 20 日開催
有道順子、香川亮子、中村和恵、柚木直子
- c) 母乳育児シンポジウム(広島)実行委員会参加
有道順子(外来)、有森陽子(6A)、香川亮子(5B 師長)、武田亜希子(5B)、常久幸恵(6A 師長)、柚木直子(6A 副師長)

- 2) 患者様ご家族、一般の方対象
 - a) オンライン母親学級、外来での DVD 視聴開始:対面での出産前クラスが中止されたため、2021 年度より講義 DVD を作成して外来での DVD 視聴・Teams によるオンラインでの母親学級(毎週金曜)に変更して実施継続中。
 - b) 国際助産師の日(看護協会) BFH ポスター展示:11 月 3 日(いいお産の日)
 - * 例年実施している、中高生への性教育出前講座、育児相談事業(看護協会)、南方子育て支援センター育児講座などはコロナ禍のために中止
 4. 赤ちゃんにやさしい病院月間(毎年 8 月 1 日-31 日)活動
 - 1) 世界母乳育児週間(8 月第 1 週)にあわせて、2017 年より 8 月を「赤ちゃんにやさしい病院」月間と設定し、乳幼児の栄養に関する啓発活動を行っている。
 - 2) 2022 年度活動
 - a) 「赤ちゃんにやさしい病院月間」垂れ幕掲示
 - b) 「赤ちゃんにやさしい病院新聞 vol. 5」作成・配布
 - c) 「赤ちゃんにやさしい病院」認定 30 周年ポスター展示継続(2021 年 8 月～2022 年 3 月)
 - d) 「赤ちゃんにやさしい病院」認定 30 周年記念講演会」開催
 - <講演>
 - 「赤ちゃんにやさしい病院認定 30 周年によせて」
 - 山内芳忠先生(元日本母乳の会代表理事、元岡山医療センター臨床研究部長)
 - 「私が知ってる世界の赤ちゃんの話」
 - 岩本あづさ先生(国立国際医療研究センター連携協力部連携推進課長、元国立岡山病院小児科)
 - <当院 BFH にゆかりのある方々からのメッセージ>
 - 神津トミ子様(元国立岡山病院産婦人科師長)ビデオメッセージ
 - 中山真由美先生(元サン・クリニック小児科、元国立岡山病院小児科)
 - 間野雅子様(元岡山医療センターNICU 師長)
 - 有道順子様(元岡山医療センター産婦人科師長)
 - 山縣威日先生(サン・クリニック院長)
 - 青山興司先生(青山こどもクリニック院長、岡山医療センター名誉院長)
 - <参加者>
 - オンライン・会場あわせて 151 名参加(オンライン 68 名、会場(職員) 74 名、会場(来賓) 9 名)
- e) 日本母乳の会ニュースレターNo.84「赤ちゃんにやさしい病院認定 30 周年記念講演会」報告を寄稿(新生児科 中村和恵)
 - f) BFH ラウンド:「母乳代用品のマーケティングに関する国際規準」違反がないか、病棟や外来、売店などを見て回った。明らかな違反はなかった。
5. 業績(学会発表など)
 - 1) 表彰:
 - 国立病院機構本部令和 4 年度 QC 活動奨励表彰中四国グループ特別賞
 - 産科助産師 COVID-19 対応チーム「COVID-19 妊婦の帝王切開後の母乳育児支援」(12/9 受賞)
 - 2) 発表:

第30回母乳育児シンポジウム「母乳育児の基本－基調講演」有道順子(8/20 東京)

第36回母乳哺育学会主催勉強会「母子同床－母乳育児と安全性の両立」中村和恵(9/17 長崎)

3) 論文:

中村和恵. 母乳育児拡大に向けての退院後の支援-小児科医の立場から. 日本母乳哺育学会雑誌. 2022;1(16); 79-85

中村和恵. 191の疑問に答える周産期の栄養「授乳の支援」. 周産期医学. 2022; Vol.5;564-568

*2023年度より「母乳育児推進室」を「赤ちゃんにやさしい病院(BFH)推進室」へ変更・室規定改定の予定。



写真: 赤ちゃんにやさしい病院 30周年記念講演会